



## あびこハザードマップ

**このマップについて**

このハザードマップは、台風や豪雨による水害、大規模な地震の揺れや液状化などに日頃から備えるべく、危険箇所をはじめ、避難に必要な避難場所・防災関連施設などを、市民のみならず確認できるように作成したものです。万が一の場合に備えて、安全な避難に役立ててください。

**あびこといっしょからは、すばやく逃げるうな~**

**マップの使い方について**

災害にそなえて

- 1 自宅や勤務先、学校などの周辺の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。
- 2 あらかじめ、避難場所や避難経路、家族との連絡手段などを話し合きましょう。
- 3 いざというときの安全な避難行動、日頃の備えを確認しましょう。

**安全な避難のポイント**

ひなんするときは

- ひなんする前に火元などをチェックする
- 近所に声をかける
- 荷物も少なく、歩いてひなんする

ひなん所では

- 近所の人と協力しましょう

**避難についてのお願い・基本マップ凡例**

基本マップ編  
1 2 3~8  
避難の心得・立退き避難  
大雨時の避難行動 9 10  
大雨時に考えられる災害タイムライン 11 12  
大雨時の避難  
洪水浸水想定 13 14  
洪水ハザードマップ  
大津川、亀成川等 15 16  
手賀川・手賀沼洪水ハザードマップ  
大雨時の情報・浸水継続時間 17~19 24~26  
洪水ハザードマップ(利根川) 20~23  
内水浸水実績図 27~30  
下水道排水区浸水想定区域図 31 32  
地震への備え 33 34  
揺れやすさマップ 35 36  
液状化危険度マップ 37 38  
建物全壊率マップ 39 40  
情報の入手先と内容 41 42

令和7年2月発刊

**P1 風水害時に発表される情報(避難情報)**

風水害時は、警戒レベル等周辺の状況を勘案して、我孫子市から3段階の避難情報を発表します。

警戒レベル	種類	市民に求める行動内容
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、危険な場所から避難しましょう。また、高齢者以外の人も、必要に応じて、普段の行動を見合わせて、避難の手備をして、危険を感じたら自主的に避難を開始するタイミングです。
警戒レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難しましょう。
警戒レベル5	緊急安全確保	命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。「緊急安全確保」の発令を待ってはけません。

避難情報が出ていない場合でも、身の危険を感じたら、すぐに避難しましょう。

**P9 安全な避難行動**

災害時に避難を行う場合は、周辺の状況等の正確な情報をもとに行動してください。避難とは避難所に行くことだけではありません。近隣の安全な場所や自宅が安全な場合は自宅にとどまることも検討して、命を守る行動をとってください。

**正しい避難行動**

- 正しい情報入手
- 周辺の状況把握

**避難とは、避難所に向かうだけではありません。**

自分が状況を判断し、命を守る行動の全てが避難です。

※詳しくはホームページ「2月17日」より「大規模な避難行動」をご覧ください。

**早めの避難**

- ① 避難場所・避難所へ
- ② 避難所・避難所へ
- ③ 避難所・避難所へ
- ④ 避難所・避難所へ
- ⑤ 避難所・避難所へ

**P10 大雨時の避難行動**

**ハザードマップで自宅を確認**

浸水想定区域内 浸水想定区域外  
かけ崩れの危険がある区域内 かけ崩れの危険がない区域外

**自宅にとどまってください(屋内安全確保)。**  
※浸水想定区域やかけ崩れの危険がある区域に近い場合や、災害発生時の危険を感じる場合は、必要に応じて避難してください。

**立退き避難の必要性を確認**

右記以外  
家屋が倒壊するおそれのある浸水想定区域外であり、想定される浸水深より高い場所に居る(マンション等)

**自宅にとどまってください(屋内安全確保)。**  
ただし、水が引くまで過ごすための水・食料・携帯トイレなどの備えが必要です。  
※目安は3日以上

**立退き避難先を確認**

災害の危険が無い場所に親戚や知人等が住んでいる  
災害の危険が無い場所に親戚や知人等が住んでいる

**大きな台風が接近している場合や、避難情報(高齢者等避難など)が発令された場合もしくは危険を感じた場合は、親戚や知人等の家に早めに避難してください。**

高齢者や避難に時間が掛かる方は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された時それ以外の方は警戒レベル4「避難指示」が発令された時に、洪水ハザードマップに記載の開設している「指定避難所」や「指定緊急避難場所(洪水時)」へ避難してください。

**目ごころからの安全対策**

● 収納は重いものを下、軽いものを上にして。また、扉を開かないようにしましょう。

● 大型の家電製品や家具は転倒防止器具で固定しましょう。

● 寝室や避難経路になる場所に大きな家電製品や家具を置かないようにしましょう。

● ガラスには飛散防止のフィルムを貼りましょう。

● 寝室などの取り出しやすいところに運動靴などを用意して、割れたガラスなどから足を保護しましょう。

● 転倒防止器具には、天井などに固定するタイプもあります。

● 扉や引出しに開閉防止ストッパーをつけてください。

● 家具の前下部に取り付けるストッパーや、家具の底部と床を粘着させるゲル状のものを設置する。

● 重いものは下に収納

● 収納物の落下を防止するため、棚板にふきんを敷いたり、飛び出し防止棒をつけると安心です。

● 家屋の耐震化 既存の家屋の壁や基礎、接合部等を補強することも可能です。特に昭和56年以前に建築された家屋は、耐震診断を実施しましょう。

● フロク塙の点検 高さ、厚さは問題ないが、控え壁や基礎はあるか、傾きやひび割れがないか、鉄筋が入っている点検しましょう。

**我孫子市も被害を受けた**

東日本大震災から14年がたとうとしています。近年では能登半島や宮崎県で大きな地震が発生し、南海トラフ地震の臨時情報も発表されました。皆さんは、我孫子市で同じ規模の災害が起こったときの状況をイメージできていますか？

いつ起こるか分からない災害から命や財産を守るため、この冊子を読み、万が一の場合に備えましょう。

**市民安全課・内線295**



▲市HP

**最新版**

# あびこハザードマップ

2月中旬から配布開始

「読んで確認」備えのための第一歩

### 配布されたら…

自分の家や地域が**どの災害のときに、どのような被害を受ける可能性があるか**を必ず調べ、自分が**どう行動するべきか**、事前に考えましょう。

**確認ポイント**

- P10** 台風や豪雨などの災害時に、自分は避難するべきかどうか
- P12** 避難するタイミングや情報の入手先、発表される避難情報
- P13** 開設する避難所(災害の種類によって異なります)

### 配布方法

自治会・自主防災組織を通して各戸に配布します。各組織内での配布方法・時期は、代表者にお問い合わせください。

◎自治会・自主防災組織に未加入の方

2月17日(月)から市民安全課(市役所本庁舎地階)、市民課(本庁舎1階)、各行政サービスセンターで配布します。※自治会・自主防災組織に未加入で、50世帯以上住んでいるマンション管理組合には市からお届けしますので、お問い合わせください。

### ハザードマップの特徴

- 基本マップ編、風水害編、地震編の3つの災害種別に分けて、全ての自然災害を想定しています。危険箇所などの地図情報だけでなく、緊急時の災害・気象情報の入手先や、皆さんの安全な避難行動につなげるための情報を掲載しています。
- ハザードマップの使い方や安全な避難行動(避難とはどういうことか)を分かりやすく紹介
- 風水害時に発表される情報や大雨時の避難行動などを、表やフローチャートで掲載
- 想定最大規模降雨時の浸水想定区域を確認できる
- 地震への備えや日頃からの安全対策、非常持ち出し品などを、イラストを用いて掲載
- 情報の入手先と内容を大幅に追加
- 県が新たに指定した土砂災害警戒区域を追加
- 内水浸水実績図の情報を更新